



令和8年度 長崎県基幹型認知症疾患医療センター事業

働く世代のための

参加無料



認知症理解

促進セミナー

認知症を発症しても働き続けられる社会を目指して

認知症やMCIって
どういう病気？
正しい知識を知っ
ておきたい。

従業員の様子が最近
おかしい。
もしかして認知症？

認知症を発症した
ら働けないの？

職場はどのような
サポートを受けら
れるの？

詳細



日時 2026年10月22日(木)
14:00～16:00 (開場：13:30)

参加費 無料 ※駐車場の割引はございません

会場 スタジアムシティ North 4 階
NUTIC ラウンジ
(〒850-0046 長崎市幸町7-1)

対象者 一般企業等の管理者、産業医、
認知症に関心のある現役世代

方法 会場とオンラインの
ハイブリッド開催

申込方法 Microsoft Forms

※下記の二次元コードからお申込みください

定員 会場：先着70名

申込期間 10月18日（日）24:00まで

プログラム

- 14:00～14:05 開会
- 14:05～14:50 『働く世代のための認知症の基礎
～ 予防と早期ケア ～』
- 14:50～15:00 休憩（10分）
- 15:00～15:20 『長崎県若年性認知症サポートセンターの紹介』
- 15:20～15:40 『ご本人からのメッセージ』
- 15:40～15:50 質問コーナー
- 15:50～16:00 基幹型認知症疾患医療センターの紹介
- 16:00 閉会・アンケート記入

講師紹介

長崎大学病院基幹型認知症疾患医療センター

医師 木下 裕久 先生

日本精神神経学会専門医、日本老年精神医学会専門医、産業医。
長年、長崎大学病院にて認知症診療に携わり、数多くの若年性認知症患者
の診療を経験。産業医としても活躍。

長崎県若年性認知症サポートセンター

若年性認知症支援コーディネーター 藤島 涼子 氏

若年性認知症と診断された方の治療と仕事、生活の全般的な支援に携わ
る。医療機関や産業保健領域の関係機関と連携し、就労継続の支援や退職
後の生活の相談に応じている。離島を含めた県内各地で精力的に活動中。

若年性認知症当事者 渡口 浩幸 氏

55歳の時に職場でもの忘れの症状を自覚。58歳の時に若年性アルツハイマ
ー型認知症と診断。発症後も職場の協力を得て一般企業での就労を継続。
長年勤めた会社を60歳で退職し、現在は抗アミロイドβ抗体薬による治療
に専念し、妻とサッカー観戦を楽しんでいる。

主催

長崎大学病院 基幹型認知症疾患医療センター

095-819-7975 (センター直通)

takahisa.matsuo@nagasaki-u.ac.jp



スマホから簡単！

参加申込フォーム

